

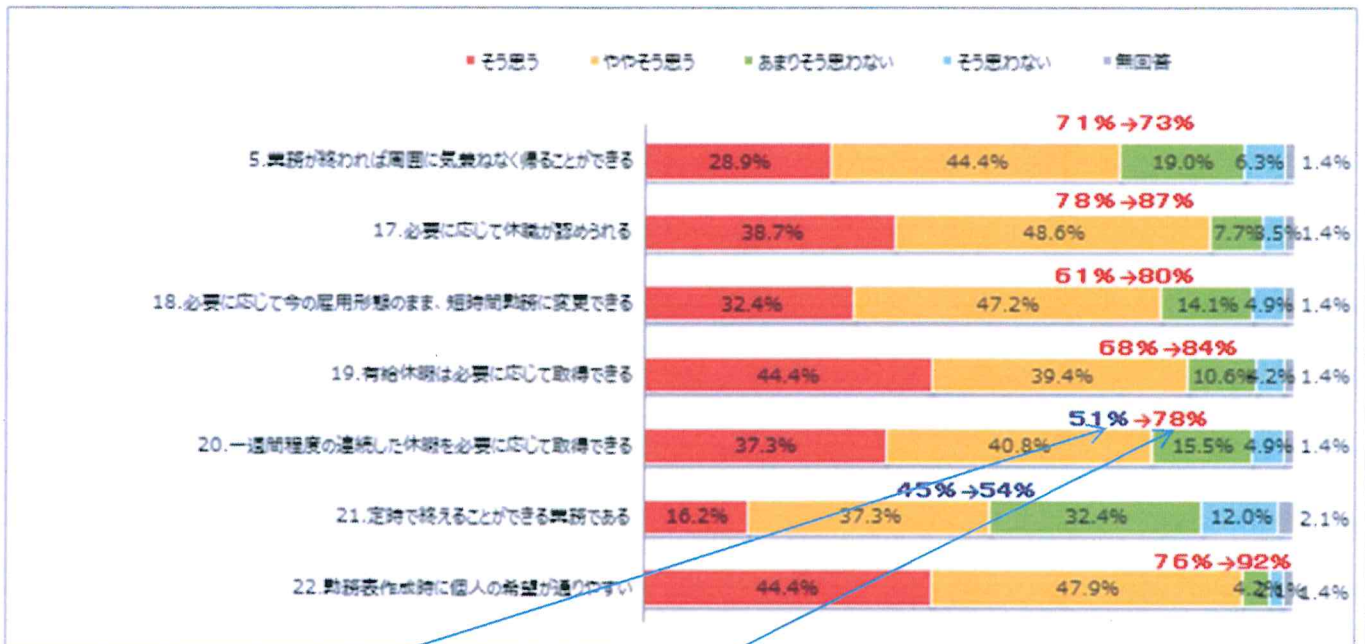


インデックス調査結果

日本看護協会のインデックス調査にご協力いただきありがとうございました。回答者142名（回答率97.2%）と先回同様、ほぼ全員に回答していただきました。

今回は、インデックス調査結果の中の、職員調査の「労働環境」だけを取り上げ、結果報告をします。

■ 労働環境について



表の見方:

赤の「そう思う」と、オレンジの「ややそう思う」を足した数が、棒グラフの上の数字に当たります。その左側は、平成27年の結果です。矢印の右側は今回の結果です。

◎ 「そう思う」「ややそう思う」を足した答えの割合が高かった順位

No1. 「勤務表作成時に個人の希望が通りやすいか」は、前回の76%から92%へ上昇。

No2. 「必要に応じて休暇が認められるか」は、前回78%から87%へ上昇。

No3. 「有給休暇は必要に応じて取得できるか」は、前回68%から84%へ上昇。

◎ 一番点数が低かった項目。

「定時に終わることができる勤務である」は、前回45%から54%と、上昇。まだ伸びしろがある。

◎ アセスメント:

1. 勤務表作成は、師長が皆の希望を入れながら有給を入れながら、でも看護の質が落ちないように勤務に必要な人数を確保しながら勤務を組んでいる姿が目に見えます。

師長さん、お疲れ様です、そして、ありがとうございます。

2. 休暇に関しては、四季休・有給上手にを使ってリフレッシュし、また仕事を頑張ってください。

3. 今回、いい結果が出たのは、残業ワーキンググループの取り組みの結果でもあります。スタッフの意見を取りまとめたり、伝達し実行するなど、活発に活動をしていただきありがとうございました。

まだまだ取り組みは続きます。ご意見ご感想があれば、残業ワーキンググループのメンバーや師長主任まで。